

地域づくり計画書

手間ひまかけて育もう

地域の絆 地域のほこり



期間 平成21年度～平成25年度

あいみ手間山地域振興協議会

はじめに

あいみ手間山地域振興協議会は平成19年6月30日「みんなの総意によるみんなのための地域づくり」を合言葉に発足してから、早いもので1年9ヵ月を経過しました。

この間、「理想は高く、計画は身の丈を考えてできる範囲内で」をモットーに、皆さま方のご要望の中から現実に可能な事業を展開しつつ、併せて、2年を目途とし「地域づくり計画」の策定に努めてきました。

私たちの住まいする環境が時代と共に変貌する時、この変化に的確に対応することに依ってのみ我々の豊かな生活が保障されるものである限り、先人から受け継いだ終の棲家、我々が誇りとする手間の里、次世代へ自信を持って引き継いで行くためには、いま住む我々が変わらなければならないと考えます。

ここに、完成を見ました「あいみ手間山地域振興協議会地域づくり計画書」具体的には今後の年度計画に事業として組み入れ推進していくことによって「我々が希望を持って、心豊かで日々の生活に潤いと明るさを見出せる地域」を創りだすことができると確信するものであります。

策定のために、長期間に渡ってご尽力いただきました関係各位に謝意を申し上げますと共に、手間地域振興区の更なる発展に向けて、今後とも皆さま方のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成21年3月

あいみ手間山地域振興協議会
会長 遠藤典男

1. 地域の概要・現況

【地形・気候】

○地形等

手間地域振興区は10集落から構成されており、位置的には鳥取県の西端に位置し、東経133度19分46秒、北緯35度20分14秒に位置する南部町天萬庁舎（平成16年10月1日における合併前においては会見町役場）を中心としている。

地形的には手間平野を主とする平地に位置し、西の三崎山、南の要害山（手間山）、東の越敷山に囲まれ、北は山陰の商都と言われる米子市と接しており、中国地方の名峰「大山」が美しく眺められるよい場所である。

各集落の標高は海拔20mから30m程度である。



冬の大山（田住の田んぼから）

○気候

気候的には典型的な温暖湿潤気候であり、四季の変化がはっきり分かれている。鳥取地方気象台におけるデータによると、平年における平均気温の最高は7月下旬の27.0度、最低は2月上旬の3.4度ではあるが、昨今の地球温暖化によると思われる気温の上昇が著しく、数十年前には考えられなかった人の体温

以上の気温である36.5度を超える最高気温が記録されることもめずらしくなくなった。

積雪量は年々減少し、50cm以上の積雪を記録することもめずらしくなかった以前とは異なり、最近では積雪のある日が著しく減少してきている。



フラワーロード（宮前一）

【人口・世帯数】

手間地域振興区は、平成20年4月1日現在において2,747人（うち外国人は34人）、世帯数は828世帯であり、南部町における地域振興区では人口、世帯数ともに1番多い地域である。

また、14歳までの年少人口においても比較的多く、65歳以上の高齢化率においては24.9%と、町の平均である28.7%と比較しても若い人の多い地域である。しかし、集落別の高齢化率では30%を超える集落もあり、円山の少子高齢化、福里の年少人口（若い世代）が多いことなど、ばらつきが見られる。

1996年から2007年までの12年間の人口データを基に将来を予測すると、南部町全体における人口が減少していく中において、手間地域振興区は計算上、毎年9.5人ずつ増加していくと予測される。

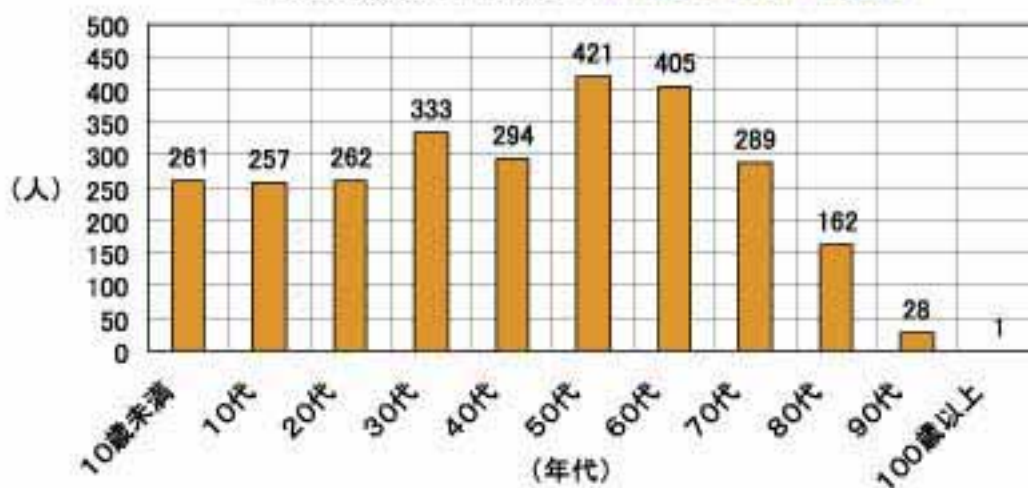
注) 人口予測は、最小二乗法（理論上の直線データを決定し、その理論上の直線の値と各年のデータとの誤差の二乗が最小となるように理論上の直線のデータを決定する方法）

西暦	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
平成	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人口	2,619	2,626	2,620	2,683	2,718	2,708	2,737	2,755	2,703	2,726

回帰方程式による予測値（12年間のデータによる予測）										
西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人口	2,705	2,713	2,755	2,764	2,774	2,783	2,793	2,802	2,812	2,821

回帰方程式による予測値				
西暦	2016	2017	2018	2019
平成	28	29	30	31
人口	2,831	2,841	2,850	2,860

手間地域振興区・年代別人口（平成20年4月1日現在）



【産業】

手岡地域振興区における主な産業は農業である。手岡地域振興区内156haある耕作地のうち58.9%が水田として耕作されている。(南部町の耕作面積は906ha) 自然的な条件に恵まれており、昭和40年代に構造改善が終了している。しかし、農業所得の減少により、年々農業従事者が減少し、かつ高齢化が進行してきていることは否めない。これに呼応するように遊休農地が増加していることは今後の課題である。

第2次産業としては、繊維業等の工場があるが、町民の雇用は少数にとどまっている。

また、第3次産業として小売店があるが、小規模なものが多いため、隣接する米子市等での買い物が多いことは否定できない。



(数値は2005年農林業センサスより)

ソバ播種作業(種まき)

【交通】

現在公共交通機関としては、日の丸バス、南部町ふれあいバスがあるが、乗車人員の減少が顕著でありその早急な対策が急がれる。自家用車の普及により、昭和42年5月14日まで運行されていた「法勝寺電車」の軌道跡は、現在一部生活道路として使用されている。



かつての法勝寺電車道(三崎)

【歴史・文化・教育】

○歴史・文化

手岡地域振興区内の手岡山については、古事記に記載されているほどの歴史をもっている。また、西日本最大級の前方後円墳の三崎殿山、三角縁神獣鏡の出土した普段寺1号墳、大国主命遭難地と

いわれる赤猪岩神社、天照大神を祭る天萬神社、佐野川用水路整備に大きな貢献のあった吉持家等、歴史的文化的な遺跡が多く、手間地域振興区においてはこれらを巡る歴史散策コースを整備する構想を持っている。

○教育

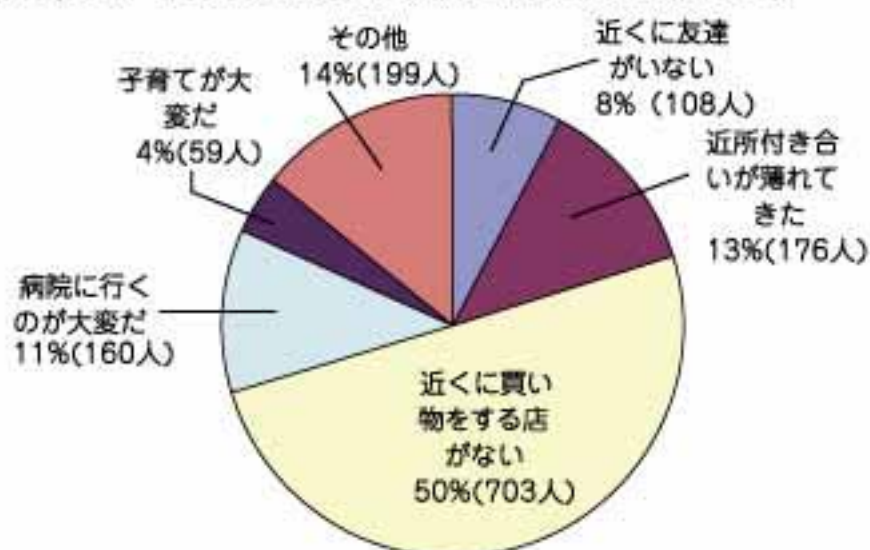
教育については、地域協働学校（コミュニティースクール）等、地域の特色を活かした教育に力を注いでいる。生涯学習、人権教育、青少年教育等はもちろんであるが、現代社会の歪が今日的生活に入り込んできているいま、家庭教育にも傾注することが必要になってきている。

【暮らし】

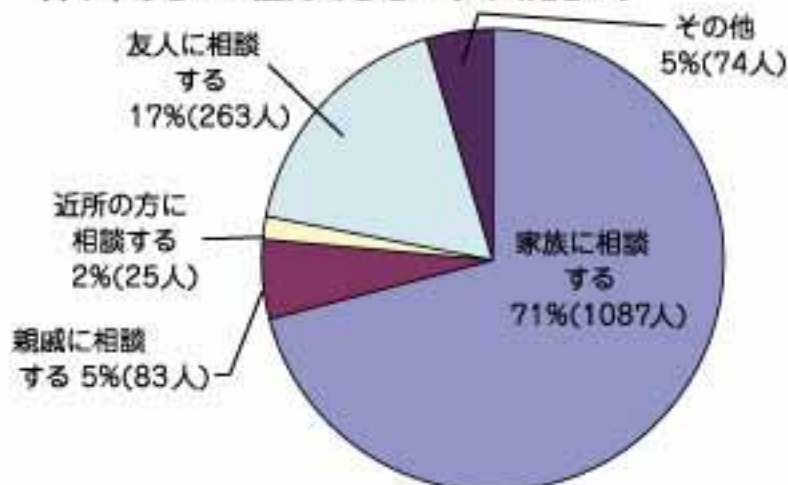
あいみ手間山地域振興協議会において実施したアンケート結果の主なものは、以下のとおりである。

～ アンケート結果の抜粋を記載 ～

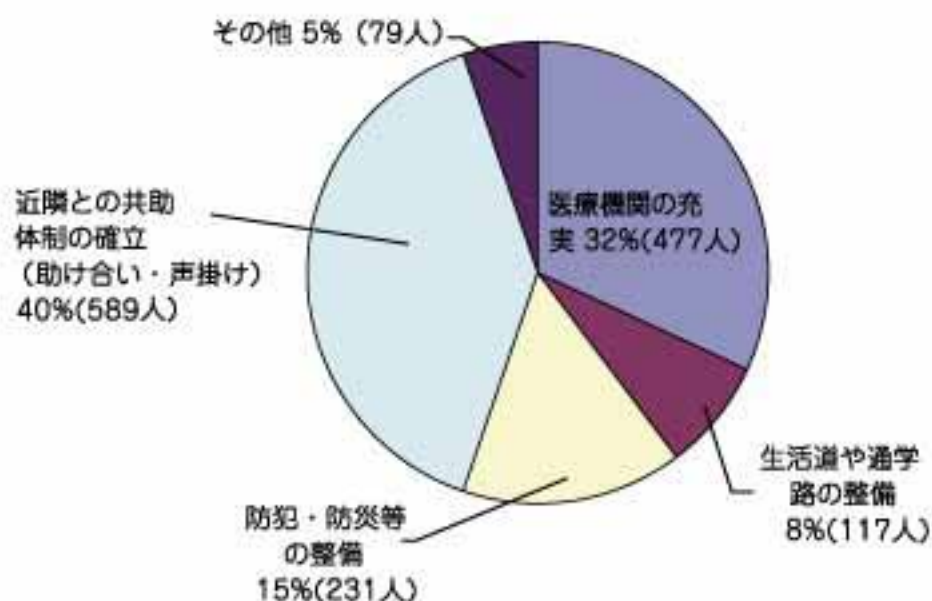
問9 日々の生活でお困りのことについて、お聞きします。
次の中から一番お困りのことを選んで○をつけてください。



問10 日々の生活の中で困りごとの相談相手について、お聞きします。
次の中から一つ選んで○をつけてください。



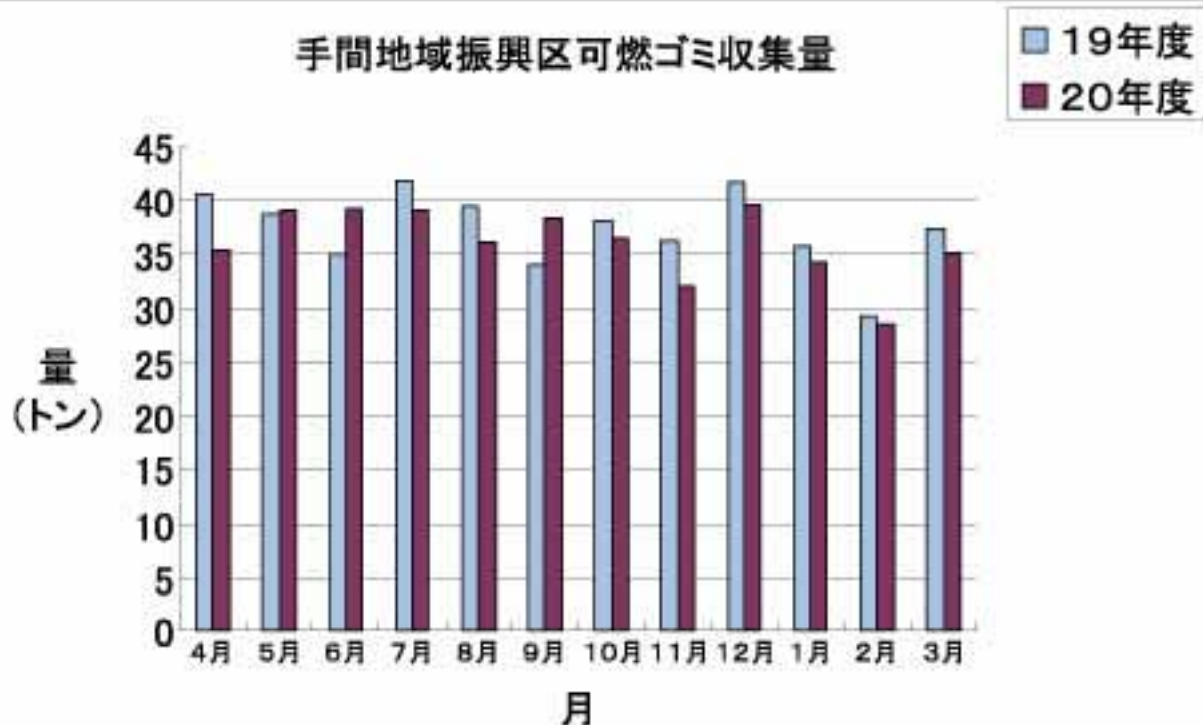
問11 少子高齢化が進む中、子どもからお年寄りまで、地域住民の方々が「安心して暮らす」ためには、どのような取組みが必要だと思われますか。特に必要だと思われることを一つ選び○をつけてください。



アンケートからもわかるように、買い物、子供の礼儀、高齢者の生きがい、健康対策等が住民の課題だと思われる。

また、手間地域振興区内の集落における共通な課題として、農業後継者不足、不法投棄の増加、高齢化の進行、世代間のコミュニケーション不足、ごみの対策等が挙げられる。

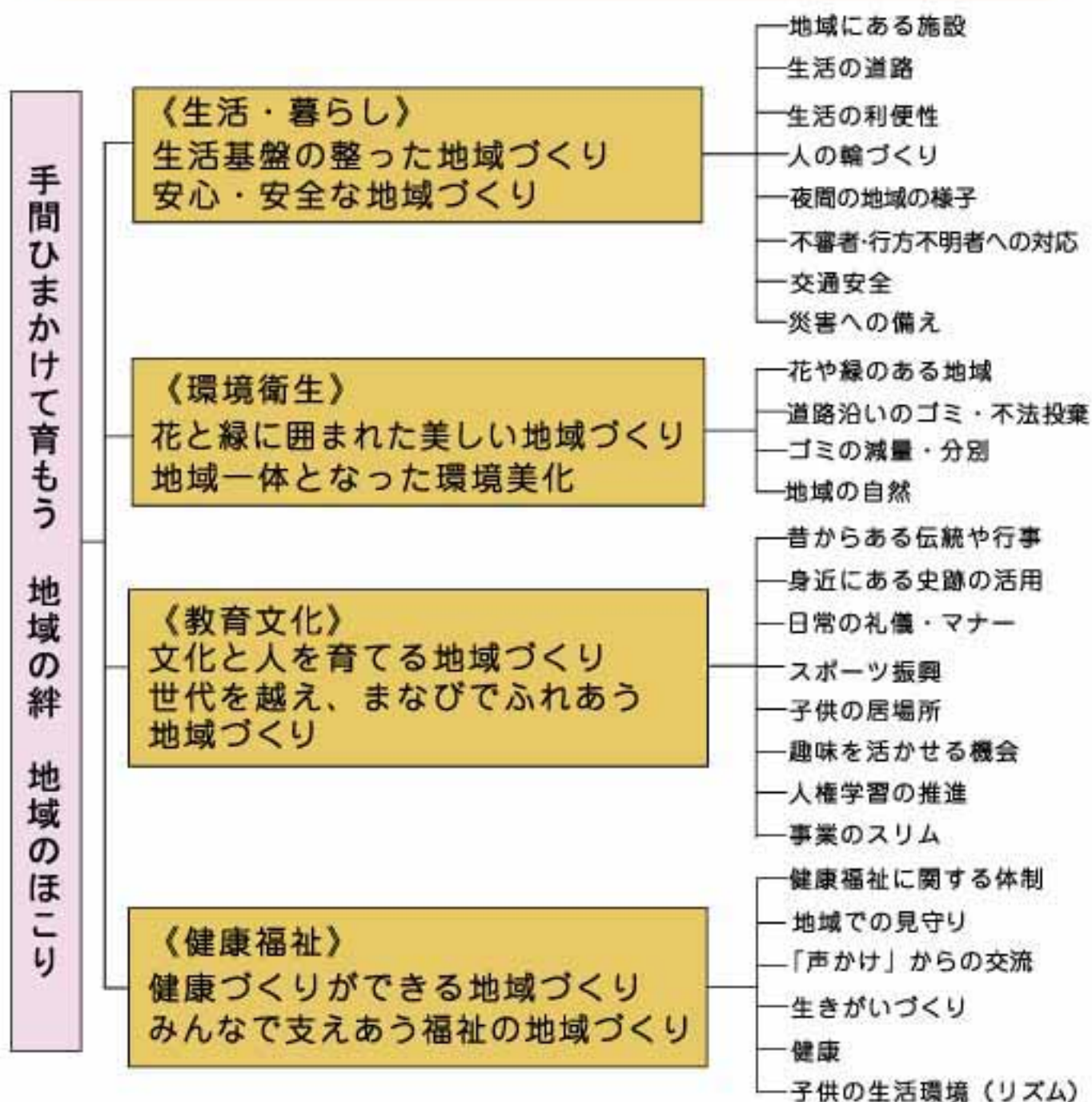
手間地域振興区可燃ゴミ収集量



2. 計画策定にかかる取り組み方法

今回地域づくり計画を策定するにあたり、住民の生活に密着して現状を見つめ、それぞれの課題を抽出し、将来に向けた今後のあいみ手間山地域振興協議会の取り組みについて検討していくという一連の流れの中で、地域の課題等（問題点）取り組む内容を4つに分類して具体的な施策を検討し、地域づくりの柱（目標）として取り組む内容は、下記のとおりとする。

あいみ手間山地域振興協議会地域づくり計画骨子



《生活・暮らし分野》

【柱】 生活基盤の整った地域づくり 安心・安全な地域づくり

古くからの歴史、文化及び生活面での強い結びつきを大切にし、「ふるさと手間」のかけがえのない美しい自然、暮らしや仕事、人との交流、生活文化などの環境を主と考える地域づくりを展開していきます。

また、近年における農業従事者の減少、荒廃農地の増加などとともに、生活行動圏の拡大、価値観の多様化など住民の社会的・地域的連帯意識の希薄化が進行している中、「地域のつながりを大切にした、健康で安心して暮らせる地域」を掲げ、地域の個性とコミュニティを大切にした地域づくりを目指します。



新技術親子ふれあい見学会



震災体験学習



手間地区を一望



下校風景

《環境衛生分野》

【柱】 花と緑に囲まれた美しい地域づくり 地域一体となった環境美化

きれいな地域は住民にとって心安らく場となります。それには、地域の様子に「気づく」ことが必要です。

ゴミのポイ捨て防止意識を高め、地域内の環境美化維持を楽しく取り組めるような事業を推進していきます。

また、昨今のゴミの増加や地球温暖化も大きな問題です。ゴミの分別や身近にできるリサイクルを地域全体のゴミの減量化、地球温暖化防止、限りある資源の有効活用の第一歩ととらえてもらえるような活動を展開していきます。



満開のフラワーロード



環境パトロール



苗植え作業



草刈り作業

《教育文化分野》

【柱】文化と人を育てる地域づくり 世代を越え、まなびでふれあう地域づくり

赤猪岩神社や殿山古墳等、身近にある様々な自然環境や資源を活用して、子どもが大人とともに楽しく遊び、学べる仕組みづくりを目指します。

また、地域の課題を踏まえた活動の展開を図り、誰もが気軽に参加できるような工夫をこらすとともに、異世代との交流となるような事業を推進していきます。

さらに、高齢者をはじめ、自分の趣味を活かせる機会を設け、地域社会に貢献できる仕組みをつくるとともに、今まで培ってきた知識や技能を地域に還元したり、次世代に伝承するための場づくりを積極的に推進していきます。



しめ縄づくり



ソフトボール大会



ソフトバレー大会



殿山古墳

《健康福祉分野》

【柱】健康づくりができる地域づくり みんなで支えあう福祉の地域づくり

どの世代においても自分の体を知ったうえで状態に合わせた生活習慣が身につき、健康で活発に長生きできる地域を目指します。

また、子育て世代や障がい者、高齢者を孤立させることのないよう、世代間の交流が活発にされる地域づくりを目指します。

さらに、認知症や介護保険制度を知ることで、安心して暮らせる地域づくりを推進します。



敬 老 会



歳末餅つき



各部合同会議



あいみ地区運動会



国指定重要文化財 三角縁神獣鏡

あいみ手間山地域振興協議会

〒683-0201
鳥取県西伯郡南部町天萬558番地
南部町公民館あいみ分館内
TEL・FAX 0859-64-3790